

魚野川は日本最長の信濃川の支流にあたる。夏の鮎釣りはとても有名だが、春のトラウト（鱒）フィッシングも有名。この春は、魚野川で溪流魚を追いかけてはどうでしょうか？

近隣の魚野川で 溪流トラウト フィッシングに挑戦！

01 溪流釣り（トラウトフィッシング）とは？



日本古来のヤマメ、イwanaや、海外から持ち込まれたニジマス等が対象。餌釣り、ルアー、テンカラ、フライなど、様々な釣り方があります。資源保護のため、河川や水域ごとに漁業協同組合があり、鮎同様に、ヤマメやイwanaの放流も行っています。

02 漁期は？



溪流釣には禁漁期間があり、釣りが解禁されるのは3月1日から9月30日。雪解け水の多い初春は、本流の流れが緩めの淵の近くがポイントに、暖くなるにつれ流れの早い瀬もポイントになります。6月以降は魚野川に流れ込む各支流を責めても面白い。

03 入漁券の購入



資源保護のために、各河川または水系ごとに行業協同組合が放流を行っているため、釣り人は地域の販売店（入漁券販売所という表札がある）で、必ず入漁券を購入する必要があります。

【魚野川入漁料】ヤマメ・イwana 2750円（1日）、9500円（年券）

04 溪流釣りのやり方



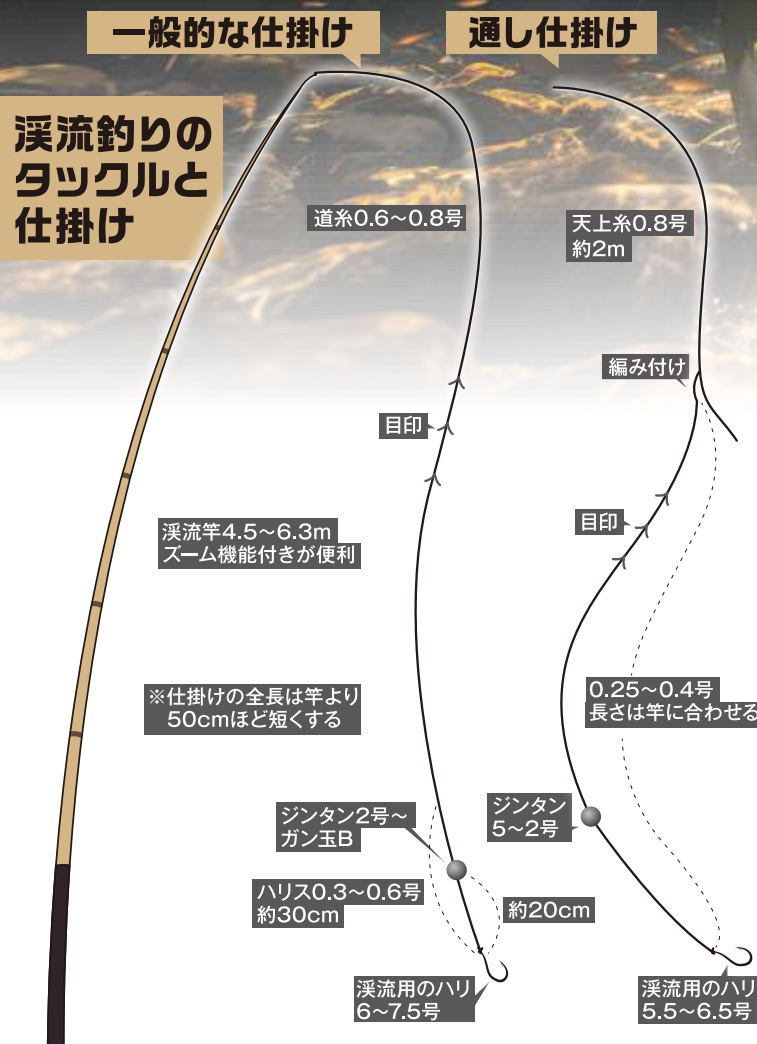
自分の用意したタックル（溪流釣りの仕掛け）に、餌、ルアー、毛バリなどを付けて、川の流れにのせてポイントを責める。溪流魚は非常に警戒心が強いので、人の気配を感じると警戒して食いつきが悪くなるので、できるだけ気配を消して（足音などの振動に注意）、また人影が水面に映らないよう、慎重に釣行します。一度警戒すると中々食いつかないので、頻繁に場所を変えて、ポイントを探るようにします。魚は基本的に上流から流れてくる餌を待っているため、流れの近くがポイントになります。ポイントの下流側に立ち、ポイントの少し上に投げ入れるのが基本です。

06 タックル等

初心者の中には、餌釣りが比較的簡単。特に春先はイクラに良く反応するので、図のようなタックルにイクラを2、3粒つけて、ポイントの流れに逆らわないように流し釣りをします。竿や仕掛けは高価なものもありますが、最初の内は釣具店で一式数千円程度のエントリーモデルを購入するといいでしょう。

05 いで立ち

溪流釣りは足で釣る、と言われるくらい目まぐるしく移動しながら釣行するので、移動の際に川に入るように、ウエーダー（胴長）があると有利です。溪流釣り用のウエーダーには靴底にフェルトの滑り止めが着いていて、苔などの着いた川底の石の上を歩いても安心です。他は予備のタックルやエサなどを入れておくケースをバッグと取り出せるような、ベストやウエストポーチがあると便利です。※インターネットで溪流釣り入門と調べれば色々出てくるので、参考してみてください！



GW館内飲食店情報

マジックレストラン（バーコーナー）

GW限定 絶品の手作り料理
本格パスタ、ハンバーグステーキ、
フィッシュ&チップス等々が500円均一！
（別途マジックチャージ有：裏表紙参照）
【営業時間】5月3日（金）～5日（日）
18:00～23:00（LO22:00）



※画像はイメージです。

定時送迎バス 春の時刻表

※1：ツインタワー内ロビー待合コーナー
椅子No1～No15でお待ちください。

	石打発 ※1	ツインタワー	セントリー野口	ショッピング センター野口	JR越後湯沢駅	ショッピング センター野口	ツインタワー 石打着
朝便	9:15	9:30	10:00	10:15	10:30		
※2 昼便	11:15	11:30	12:00	12:15	12:30		
※2 午後便	14:15	14:30	15:00	15:15	15:30		
※2 夕便	17:30	17:45	18:15	18:30	18:45		
夜便	19:45	20:00	20:45	20:45	21:00		

※2：昼便、午後便、夕便はGWの4/27～5/6
のみの運行です。
平日は予約制（前日予約）になりますので、
前日までにご予約ください。